

報道関係各位（計4枚）

2026年1月23日
株式会社インフォマート

子どもたちが規格外野菜の魅力や 商いの楽しさを学ぶイベント 「感動！てっぽんやきパーティー」をレポート

デジタルの力であらゆる業務を効率化する株式会社インフォマート（本社：東京都港区 代表取締役社長：木村 慎、以下「当社」）は、2026年1月18日（日）に、一般社団法人感動こども協会（所在地：東京都新宿区 代表理事：有本 均、以下「感動こども協会」）が主催した食育イベント「感動！てっぽんやきパーティー」に共催として参画しました。当日は12名の子どもたちが規格外野菜の魅力を学び、自ら調理した料理を販売する「商い体験」を通じて、食の重要性と社会の仕組みを体感しました。フード業界への貢献と次世代育成を目指す本イベントの当日の模様をレポートします。



■ 本イベント共催の背景

当社は、1998年の創業以来、フード業界に根差し、業界の皆様と共に歩み、共に成長を遂げてきました。「世の中の役に立ち、世の中に必要とされ、世の中に喜んでいただける事業を通じ、お客様と共に会社も個人も成長し続け、社会に貢献する」という経営理念のもと、「BtoBプラットフォーム」の提供を通じて、フード業界の持続可能な発展を後押ししてきました。

今回共催した感動こども協会が運営する「感動こども食堂」は、「おなかいっぱい食べて元気になってもらう」とこと、「大人になった時に社会を生きていく力を身につけてもらう」ことを目的に、「こども食堂」が飲食店併設で運営され、毎日開催しているのが特徴です。この「感動こども食堂」の目的や飲食店の力を活用した社会課題解決というアプローチに深く共感し、2024年より支援しています。

共催3回目となる今回は、フード業界における当社のネットワークを活用し、一般社団法人日本野菜協会から大根やれんこん、かぼちゃなど10種類の冬野菜を中心に提供いただき、子どもたちがフードロスといった社会課題や食の循環を、調理や商い体験を通じて体感的に学べる場を提供しました。

■ 当日のプログラム

1. 食の循環を学ぶ

今回のテーマは「野菜が畑からお店に届くまで」と「規格外野菜」。「日本で一番収穫されている野菜は?」「廃棄されている食料はどれくらいある?」など子どもたちに楽しんでもらえるよう、4択クイズ形式で出題。子どもたちは正解だと思う選択肢を積極的に挙げ、楽しみながら食と農業について学びました。



2. 冬野菜10種類を活用した「調理体験」

玉ねぎやキャベツ、ジャガイモなど規格外野菜を中心とした野菜を使用し、手作りのソースと、野菜とステーキの鉄板焼きを調理しました。形や見た目よりも「素材そのもののおいしさ」を大切にする姿勢を、実際の調理を通じて体感しました。



3. 独自通貨「食堂マネー」による「商い体験」

子どもたちが自ら調理した鉄板焼きを、「感動こども食堂」の独自通貨「食堂マネー」を使って、参加した運営スタッフたちへ販売しました。「元気に挨拶する」「自分でできることは自分で行う」というルールのもと、ただ料理を作るだけでなく、お客様に喜びを届ける「商いの楽しさ」を体験。

最後は参加者全員で鉄板焼きを実食。「初めて料理に挑戦ができて楽しかった」「規格外野菜について学べてよかったです」などと感想を言い合う、笑顔があふれる時間となりました。



■ コメント

一般社団法人 感動こども協会 理事 佐藤 政也様より

私たちは「飲食店併設・毎日開催型」のこども食堂を通じ、地域の子どもたちの居場所、見守り拠点となり、地域社会に貢献したいと考えています。

今回のインフォマート様との共催イベントでは、「規格外野菜の魅力を学ぶクイズ」「鉄板焼き調理」「商い体験」を実施いたしましたが、食について考えてもらいながら、多くの笑顔も生み出すことができました。これからも地域と共に子どもたちの笑顔と未来を支えてまいります。

当社 取締役副社長 村上 肇より

当社はDXを通じてフード業界の効率化を推進しておりますが、その真の目的は効率化によって生まれたゆとりが、豊かな食体験や人々の笑顔につながることにあると考えています。本イベントでは、子どもたちが食に関するクイズや商い体験、さらにはプロの料理人に教えてもらいながらの料理体験ができたことで、楽しみながら食を学ぶ機会を作ることができました。また、感動こども協会が大事にしている「元気に挨拶する」「自分でできることは自分で行う」というルールにより、他者との協調や主体性を自然と学べる機会になったと思います。

今後もプラットフォームを通じたDX推進のみならず、こうしたリアルな場での活動を通じて、食の未来を支える活動にも尽力すると共に、感動こども食堂がもっともっと世の中に広まることを願っています。

■ 一般社団法人感動こども協会について

感動こども協会は、「感動こども食堂」の開設支援と運営サポートを行う団体です。子どもたちが「おなかいっぱい」になり、人との交流を通じて成長し、将来に向けて必要な社会生活力を身につけることを願っています。そのため、「感動こども食堂」への寄付や物資の提供、セミナーやイベントの企画・運営を通じて、子どもたちの成長に不可欠な社会体験を積極的に支援しています。彼らに現実の社会で直面する様々な状況に触れ、成長する機会を提供し、未来に自信と希望を持って歩んでいけるようなコミュニティを築いていきます。

URL : <https://kando-kodomo.org/>

■ インフォマートについて

1998年の創業以来、企業間取引における請求・受発注等の業務効率化を実現するクラウドサービスを提供・運営しています。主力サービスの「BtoBプラットフォーム」は、125万社以上が利用。プラットフォーム内の総流通金額は年間71兆円以上。

会社名：株式会社インフォマート（東証プライム市場：2492）

代表者：代表取締役社長 木村 慎

本社所在地：東京都港区海岸1-2-3 汐留芝離宮ビルディング13階

設立：1998年2月13日

資本金：32億1,251万円（2025年9月末現在）

事業内容：BtoB（企業間電子商取引）プラットフォームの運営

従業員数：809名（連結）、782名（単体）（2025年9月末現在）

URL：<https://corp.infomart.co.jp/>

【 本リリースに関する報道関係者様のお問い合わせ先 】

株式会社インフォマート（広報部：伊藤（歌））

TEL：03-6681-0632 / E-mail：im-pr@infomart.co.jp

